

錦華寮実習を終えて

短食 1 回生

とうとう終つた。

一回生の実習として最後の錦華寮実習も終つてしまった。

いつも寮食を利用しているものにとつて錦華寮の実習は興味深かつた。そして利用する者の側として留意すべき点にいろいろと気づいた。

1. 食券の手渡し方
2. 湯のみは湯のみとして使用
他方面に使用した湯のみは洗つておく
3. 食器（特に御飯椀）の注ぎをていねいに
4. 時間厳守
5. 感情の問題であるが寮食を利用する人が多いため食事の内容はどうしてもより作りやすいものの種類の繰返しということが多くなつていようだが食券のひきわたし場において、いやな顔をするのは決して感じのよいものではない

他面、働いている人の多いこと、作業場の広いこと（洗い場の通路が狭かつたという考えの人もあるようだが……）、設備の整つていること、に感嘆した。そして働いている多人数の人のチームワークの良さをも思う。がしかし、今までの実習中でも経験してきたのだが、この錦華寮においても時には不快な感じをあたえるようなことがあつたのは残念だ。又毎日、昼、夕と利用している錦華寮の食事、その日その日の献立だけではなく、Cal, 蛋白, 脂肪, 使用量, 値段がわかつたら一層よいのになあと思う。

こうしてお世話になつている錦華寮の3日間の実習で大いに反省し、又大いに考えさせられるところもあつた。

学生食堂、小学校、錦華寮の集団給食の仕事のなかに加わり、仕組みを内側から見るのは大変おもしろいことだと思う。

